

経営比較分析表（令和6年度決算）

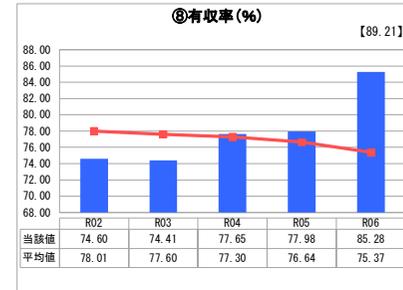
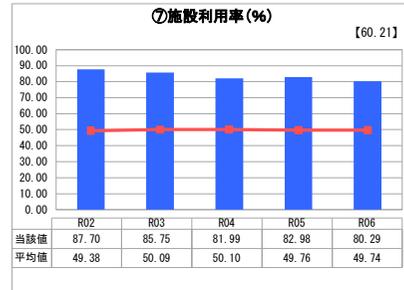
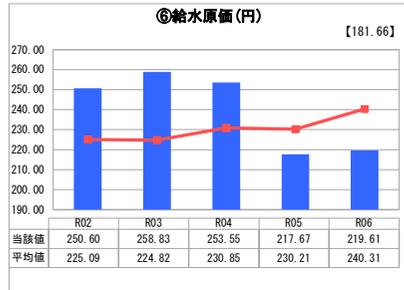
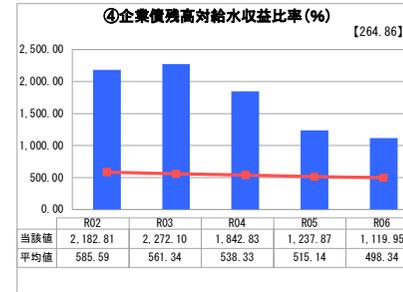
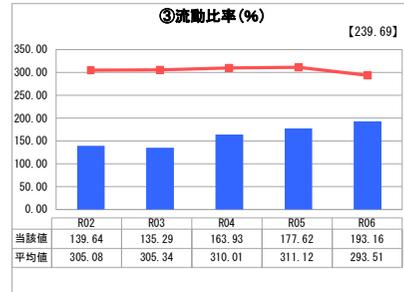
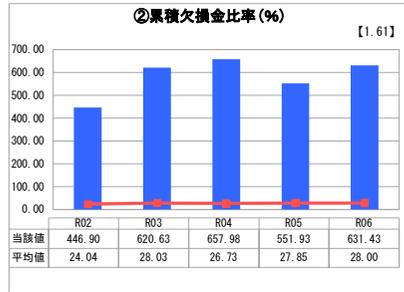
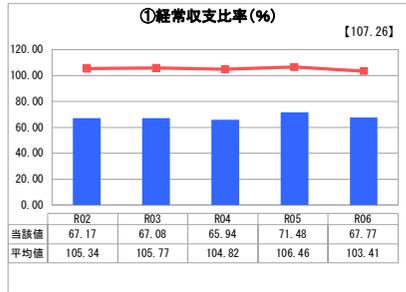
和歌山県 日高川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	58.87	95.89	2,260	

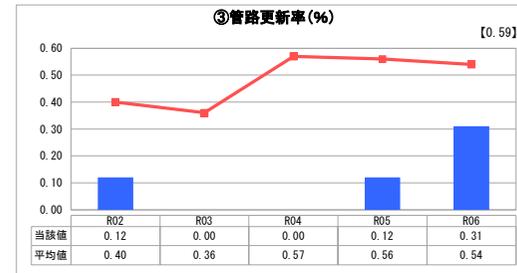
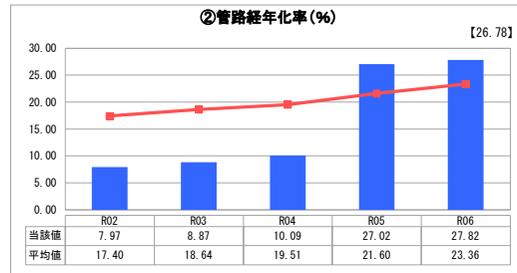
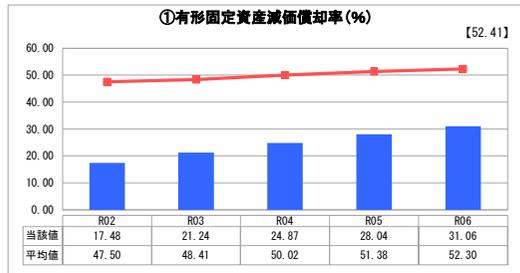
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,962	331.59	27.03
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
8,502	45.16	188.26

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営収支比率、料金回収率ともに100%を大きく下回っており、今後も人口減少による料金収入の減少や老朽化対策に伴う費用の増加が懸念されることから、継続的に原価の削減に取り組み、適正な料金の見直しを含めた検討を早急に行わなければならない。累積欠損比率も相当高い数値であるため経営改善を図る必要性がある。流動比率は100%を上回っているが、企業債残高対給水収益比率は類似団体と比較してもかなり高く、償還と利息の支払いが企業経営を圧迫している。また、令和4年度までコロナ対策の減免除以降少しずつ料金回収率が戻ってきている。施設利用率は概ね適正と考えられ、有収率は大規模な漏水調査を実施した結果、大幅に向上した。今後とも継続的に有収率向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

令和5年度より配水管更新工事を実施しているため更新率の向上がみられる。耐用年数に達し更新時期を迎える水道施設については、必要な修繕を行いながら長寿命化を図っていく。

全体総括

経営収支は赤字経営で、欠損金が累積している状況である。今後も厳しい経営状況となることが考えられる。施設の更新等に備えた財源の確保を図るため、適正な料金の見直しを含めながら、持続可能な経営を行っていかねばならない。